

住民の命・暮らし・地方自治向上をめざし 自治体キャラバン・醒井地区診療所問題で懇談

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

11月4日の醒井地域の医療を守る会と市の担当者との意見交換会が開催されました。また8日には、滋賀県内の労働組合や医療機関、福祉団体等で作る滋賀県民要求実現実行委員会が提出していた要請書に対する回答書をもとに担当者との懇談が行われました。各団体は米原市が誠意をもって対応していることに感謝の言葉が述べられ、さらなる住民要望の前進を求める発言がされました。

自治体キャラバン

要請内容および回答内容の全文については、後日ホームページ等に掲載します。これらの項目について県内や米原市内の各種団体から直接要請があり、担当者より、回答がなされました。

米原市民の要求として出された「高校までの医療費無料化」については「全国で高校までの医療費助成が増えており、県と調整のうえ年齢の拡充の検討を進める」との回答でした。また教育現場で会計年度任用講師が増え、大変な状況が訴えられました。「学校給食費の無償化」については、今までの主張で前進はありませんでした。次の8項目にわたり要請しました。

8項目にわたり要請

- 1、新型コロナウイルス感染症にかかわる検査・医療体制について
- 2、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換で、暮らしと琵琶湖を守る
- 3、消費税減税こそ多くの国民への確実な経済政策
- 4、憲法を生かし、住民のくらしを守り応援するまちづくり、地方自治体の確立

- 5、すべての子どもたちの成長、発達を保障する、ゆきとどいた教育の実現に向けて
- 6、福祉のまちづくりについて
- 7、県民の目線に立った平和行政を推し進めてください。
- 8、米原市民の要求



医療問題で意見交換

醒井地区の診療所廃院に伴う、医療過疎の問題について意見交換をしました。意見交換会には、守る会の江竜代表や霜越・大塚副代表や事務局が参加しました。市からは福祉政策課長ほか担当職員が参加しました。本年度1年をかけて地域医療の在り方を検討するとした市の進捗状況



を確認しました。また医師不足を解消する仕組みについて意見交換をしました。その中で、複数施設で医師が管理者を兼ねることが可能かの問題が議論されました。また在り方方針が出来る前に意見交換をしてほしいとの要望が出されました。

雑感

5日土曜日は米原学びあいステーションで「百年と希望」という映画を見ました。この映画は結党百年を迎える日本共産党の活動を党以外の監督が追った映画です。共産党東京都議の池川友一さんは4人のこどもを育てながら、頭髪のツーブロック禁止などブラック校則を取り上げて見直しのきっかけを作りました。また元衆議院議員の池内さおりさんはジェンダー問題をフィードバックとして取り組んでいる姿が取り上げられました。また地域の党員が地道に活動する姿が捉えられていました。6日には山東学びあいステーションで米原市女性の会主催で「マイクロプラスチック・ストーリー（右下写真）」を見ました。ニューヨークの小学生が自分たちの海のマイクロプラスチックを調べ、学校や科学者、政治家を動かしていく、本生に感動的な映画です。その小学校の先生方の学習に対する準備も素晴らしいと思いました。その中で先生が資本家側になり、小学生とディベートし子どもたちが発言する姿が、マイクロプラスチック問題の映画だけではなく学校教育の在り方を考える映画として、全ての小学校で見たいと思います。日本語吹き替えもうまく処理されていました。

